



インターナショナル新書

『松本隆のことばの力』

藤田久美子 インタビュー・編

定価：本体902円（10%税込み）

体裁：新書判／200ページ

発行：集英社インターナショナル（発売：集英社）

ISBN：978-4-7976-8085-0

藤田久美子インタビュー・編
Fujita Kumiko

松本隆の ことばの力

いつもそばに松本隆の「ことば」があった

50年の
作詞家生活で
つむがれた
「ことば」について

作詞活動50周年を迎えた松本隆。

はっぴいえんどの「日本語ロック」や

松田聖子、ジャニーズのアーティストになどに

提供した歌詞の背景と日本語という言葉の可能性を聞く。

10月7日(金)発売

藤田久美子（ふじた くみこ）

ライター、編集者、翻訳家。得意分野は邦楽、文楽、能、オペラ、茶道など。

松本隆（まつもと たかし）

1949年、東京都港区出身。1960年代後半、ドラマーとして細野晴臣らとバンド活動を始め（後のはっぴいえんど）、作詞も担当。バンド解散後、職業作詞家として本格的に活動。松田聖子、太田裕美、近藤真彦、薬師丸ひろ子、KinKiKidsらに歌詞を提供。質量ともに稀代のヒットメーカーとなる。2021年に作詞活動50周年を記念したトリビュート・アルバム『風街に連れてって！』が発売。

作詞家、松本隆が50年のキャリアを語る

はっぴいえんどの「日本語ロック」や松田聖子などに提供した歌詞の背景から日本語という言葉のおもしろさと可能性が浮かび上がる。

細野晴臣、大滝詠一、鈴木茂と組んだはっぴいえんど時代、日本語とロックの関係を築き上げ、その後「職業作詞家」に転身。その頃の作詞家には脚本家とコピーライター出身者が多く、ミュージシャン出身（ドラマー）は珍しい存在だった。音楽への深い理解とリズム感を生かし、まったく新しい歌詞の世界をつくり上げていく中で発見した「ことばの力」とは。

太田裕美、松田聖子、ジャニーズのアーティストたち……に歌詞を提供、ヒット曲を量産し続け、古事記やシューベルトの「訳」も手がける。唯一無二の「ことばとの関わり」をアーカイブするとともに、歌詞にこめられた時代、思い、人、街、そして風…も未来に伝える。

——目次より——

第一章 はじめにことばありき

第二章 ことばの力

第三章 詞の作り方

第四章 『冬の旅』への旅

第五章 瑠璃色の地球

※ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです。下記までお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ先】

集英社インターナショナル

電話03-5211-2630 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp>